

# 農林水産商工委員会資料

(農林水産部・商工労働部共管分)

## ■付託議案

### 【一般事件案】

承認第1号議案 専決処分事件の報告及び承認について【関係分】・・・P1  
《令和2年度島根県一般会計補正予算(第13号)》

### 【予算案】

第80号議案 令和3年度島根県一般会計補正予算(第1号)【関係分】  
・・・P2~5

## ■報告事項

①日比谷しまね館会館1年の状況について・・・P6~8

令和3年6月24日・25日

農 林 水 産 部  
商 工 労 働 部



## 承認第1号議案 令和2年度島根県一般会計補正予算（第13号）【関係分】

## しまねブランド推進課

（単位：千円）

事業名	補正前の額	補正額	計	備考
総計	2,036,943	▲ 7,068	2,029,875	【財源】国 ▲ 2,279 使・手 0 その他 0 県 ▲ 4,789
（農林水産業費 計）	58,407	0	58,407	【財源】国 0 使・手 0 その他 0 県 0
（商工費 計）	1,978,536	▲ 7,068	1,971,468	【財源】国 ▲ 2,279 使・手 0 その他 0 県 ▲ 4,789
1 強くなやかな食品産業づくり事業費	111,860	▲ 6,019	105,841	経営基盤強化導入事業等
2 しまね海外ビジネス展開支援事業費	38,703	▲ 1,049	37,654	海外展開支援拠点設置運営事業

しまねブランド推進課

（単位：千円）

事業名	補正前の額	補正額	計	備考
総計	756,101	1,017,500	1,773,601	【財源】国 0 使・手 0 その他 0 県 1,017,500
（農林水産業費 計）	149,741	0	149,741	【財源】国 0 使・手 0 その他 0 県 0
（商工費 計）	606,360	1,017,500	1,623,860	【財源】国 0 使・手 0 その他 0 県 1,017,500
1 飲食需要回復・拡大支援事業費	0	1,017,500	1,017,500	⇒ 別紙 飲食店の感染予防対策強化事業 897,500 島根版「Go To Eatキャンペーン」事業 120,000

## 飲食需要回復・拡大支援事業 (飲食店の感染予防対策強化事業)

予算額：897,500千円

〈内訳〉

第三者認証等に係る事務費 137,500千円  
機器類購入経費補助金 760,000千円

### 1. 趣旨

飲食店における感染防止対策を徹底し、県民及び来県者が安心して飲食店を利用できるよう、第三者認証制度(「しまね安心なお店」認証制度)を導入する。

また、認証に必要な感染対策機器類の購入経費を補助することにより認証取得を促進する。

### 2. 概要

#### (1) 第三者認証(健康福祉部薬事衛生課)

認証を希望する飲食店を個別に訪問し、県が策定した感染防止対策の基準を満たしている場合に、これを県が認証する。

(認証申請受付開始予定：8月中旬)

※別紙参照

#### (2) 第三者認証を受けるために必要な感染対策機器類の購入経費補助

(しまねブランド推進課)

- ① 補助率 2/3 補助上限額 200千円(対象経費 300千円)  
補助下限額 33千円(対象経費 50千円)
- ② 補助対象 感染対策機器類及びその設置に係る経費  
〈例〉アクリル板、消毒設備、非接触型検温装置等
- ③ 申請期間 令和3年8月中旬～令和4年3月4日

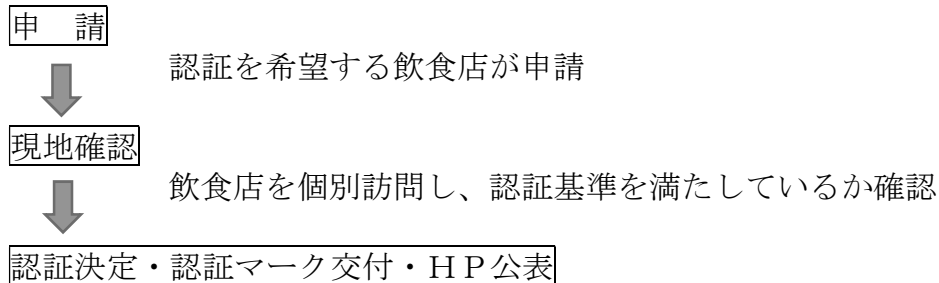
※現地確認を含む認証事務及び補助金交付事務は民間へ委託

### 3. 対象施設(認証・補助共通)

客席を設けて飲食させる飲食店(喫茶店、バー、スナックを含む)  
約5,500施設

## 第三者認証制度（「しまね安心なお店」認証制度）

### 1 認証の流れ



### 2 認証基準

国が示す認証基準（案）（約40項目）をもとに県認証基準を策定

「県の認証基準（案）」抜粋

#### 【来店者の感染症予防】

- ・店内入口に消毒設備を設置し、入店時の手指消毒を呼びかける。
- ・発熱や風邪症状、嘔吐・下痢等の症状がある者は入店しないよう表示する。
- ・飲食時以外のマスク着用を周知する。
- ・レジ等の対面接客場所にアクリル板等を設置する。現金はコイントレイを介した受け渡し、またはキャッシュレス決済を導入する。
- ・客席の間隔を最低1m以上確保するか、または席間にアクリル板等を設置する。
- ・トイレの入り口付近（客席側）に、消毒設備を設置する。

など

#### 【従業員の感染症予防】

- ・常にマスクを着用し咳エチケットを徹底する。大声での会話を避ける。
- ・業務開始前に検温・体調確認を実施する。発熱や風邪症状、嘔吐・下痢等の症状がある場合には、出勤を停止する。
- ・定期的に、かつ、他者の接触が多い場所・物品に触れた後などに、手洗いや手指消毒を実施する。

など

#### 【施設・設備の衛生管理の徹底】

- ・十分な換気を実施する（30分に1回、5分程度、2方向の窓を全開等）。
- ・他人と共用する物品や複数の人の手が触れる場所を定期的に清拭消毒する。

など

#### 【感染者発生に備えた対処方針】

- ・施設の従業員の感染が判明した場合は、保健所の指示・調査等に誠実かつ積極的に対応・協力する。

など

## 飲食需要回復・拡大支援事業 (島根版「Go To Eatキャンペーン」事業)

予算額：120,000千円

### 1. 事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている飲食事業者及びその関連事業者を支援するため、「Go To Eatキャンペーンしまね」飲食券に県特典を上乗せすることにより、飲食需要の喚起対策を強化

### 2. 事業の概要及び予算額

- ・令和3年度新型コロナウイルス感染症対策調整費を活用し、6月末までの利用期間を9月末まで延長。
- ・さらに、6月補正予算により、利用期間を12月15日まで延長。

	国単独	県上乗せ		
		R2年度2月補正分	R3年度コロナ調整費分	R3年度6月補正分
国配分額	10億円 (1冊1,000円分の特典換算で100万冊分)			追加(予定)1.5億円 (同15万冊分)
販売期間	R2.11.5-R3.3.31	R3.4.1-(R3.5.31)	(R3.4.1)-R3.8.31	R3.10.1-R3.11.15
利用期限	(R3.3.31)	(R3.6.30)	R3.9.30	R3.12.15
特典率(額)	国	25% (1,000円)		20% (1,000円)
	県	—	25% (1,000円)	10% (500円)
販売額	4,000円	4,000円		5,000円
券面額	5,000円	6,000円		6,500円
販売冊数 (実績・見込み)	約30万冊	50万冊	約20万冊	15万冊
消費喚起額 (券面額×冊数)	約15億円	30億円	約12億円	9.75億円
県予算額	—	6億円 (特典5億円+事務費1億円)	2.4億円 (特典2億円+事務費0.4億円)	<b>1.2億円</b> (特典0.75億円+事務費0.45億円)

### 3. 販売状況等

(1)販売場所 全国のローソン (Loppi)、隠岐郡及び奥出雲町の指定販売窓口、特設会場  
しまね信用金庫、島根中央信用金庫、日本海信用金庫の窓口

(2)加盟店舗数 1,874店舗 (6月18日現在)

(3)県上乗せ分の販売実績 (4月1日から6月18日報告分)

券面額 2,779,296千円 (463,216冊) 販売予定券面額の約66.2%



農林水産商工委員会  
令和3年6月24・25日  
しまねブランド推進課

## 日比谷しまね館 開館1年の状況

### 1. 概況

- ・令和2年5月29日にオープンし、テレビや新聞、雑誌など多くのメディアで取り上げられ、幅広い方々に「日比谷しまね館」を知っていただいた。
- ・首都圏での新型コロナ感染拡大による外出自粛や大規模イベントの制限などによる施設運営への影響の中、オンライン等も活用しながら、工夫をして取り組んでいる。

#### 【新型コロナウイルス感染症の影響】

- ・東京で2回目となる緊急事態宣言が発令された1月以降は、物産販売、観光案内、移住相談のいずれもが低調
- ・3回目の緊急事態宣言中となる令和3年4月26日～5月23日は、大型商業施設の営業自粛要請を受け、日比谷シャンテ（日比谷しまね館が入居する商業施設）の休業により休館
- ・5月下旬に予定していた開館一周年記念イベントの開催を延期

### 2. 令和2年度の主な活動実績

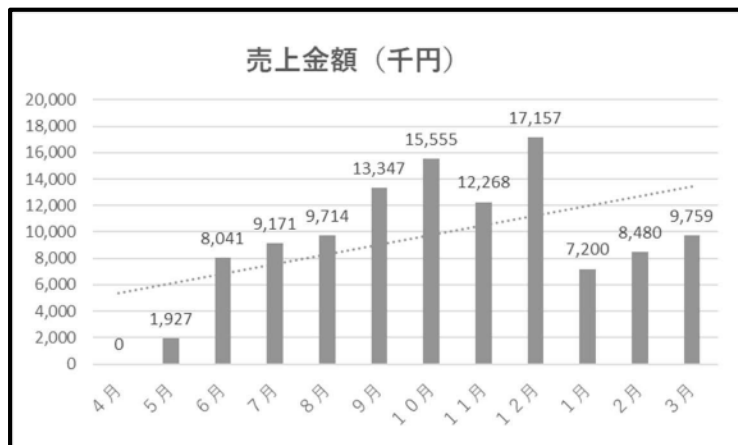
#### (1) 県産品の展示販売

- ・オープン後、レジ客数、売上金額ともに12月までは増加傾向にあったが、緊急事態宣言が発令された1月から売上げが減少
- ・レジ客数、売上金額の動向は、日比谷シャンテ来館数と比例して推移
- ・レジ客数は、女性が73%、男性が27%であり、30～40代女性が全体の45%

#### ① 令和2年度物販実績

- ・売上金額は、1億1千2百万円  
目標（R2年度KPI）1億9千5百万円に対して、57.4%
- ・レジ客数は58,538人、客単価は1,942円/人
- ・販売品目は、年度末時点で、1,264点（食品：879点、工芸品等385点）

#### 【日比谷しまね館売上額の推移】



#### 【年間日比谷しまね館売上位商品】

- 1位 のどぐろ丼(しじみ汁・漬物付)  
6,435千円（飲食提供）
- 2位 真空赤てん 5枚  
2,514千円（販売品）
- 3位 のどぐろ丼ネタセット(12枚入)  
1,588千円（販売品）
- 4位 地酒呑み&味比べセット  
1,461千円（飲食提供）
- 5位 生蕎麦2人前  
1,034千円（販売品）



## ② 販売イベント実績

- ・「ご縁ステージ」での対面販売 14件（野焼き、さば寿司、のどぐろ寿司など）
- ・館外での物産展等 4件（横浜での物産展、キッチンカーなど）

## ③ 課題と対応

- ・1年間の実績を基にアンテナショップ機能の強化と売れる売場づくりに取り組み、更なる集客とリピート客の創出につなげていくことが必要
- ・日比谷シャンテの客層や特性を分析し、しまね館からの顧客アプローチ戦略を立案実行。
- ・商品の開発や改良に役立ててもらえるように、販売情報などを県内事業者へフィードバックし、商品力を強化

## (2) 観光情報の提供

### ① 観光案内・PRイベント等

- ・観光デスクの観光案内は、1,053件
- ・館内イベントとして、オンラインイベントやワークショップ、しまねっこを活用したインスタライブを実施

### ② 課題と対応

- ・「美肌県しまね」「ご縁の国しまね」の認知拡大を図り、アフターコロナの観光誘客につなげることが必要
- ・イベントスペースを活用したPRイベント等の更なる充実により、観光情報の発信を強化

## (3) 総合的な情報発信

### ① 取材対応

日比谷しまね館の取材に積極的対応

【取材対応 36件】

内訳：テレビ16件、雑誌・新聞10件、Web9件、ラジオ1件

### ② パブリシティ

関係部局と連携し、観光情報などを新聞やテレビといったメディアを活用し発信

【パブリシティ実績 93件】

内訳：新聞20件、雑誌16件、業界紙4件、フリーペーパー4件、Web18件、  
テレビ26件、動画配信5件

### ③ デジタルサイネージ（電子看板）

観光情報や市町村情報などをしまね館内のデジタルサイネージで発信

【デジタルサイネージ情報発信 49件】

## (4) 移住相談等

- ・しまね館の相談コーナー相談件数 547件  
(有楽町交通会館内ふるさと回帰支援センター相談件数153件)
- ・オンラインセミナー及びしまね館でのイベントを18回開催、延べ342人の参加



## 日比谷しまね館の概要

### 1 設置の目的

- (1) 総合的な情報発信（物産、食、移定住、観光、歴史文化等）による島根県の認知度向上
- (2) 県産品の販路拡大と首都圏の消費動向のフィードバックによる売れるものづくりの推進
- (3) 専門員（移住支援コーディネーター）の配置による移住促進
- (4) 観光情報の提供による誘客の促進

### 2 館のコンセプト

#### ～島根とのご縁を結ぶ場所～

県産品の展示・販売、暮らしや観光の情報発信により島根の今が体感できる空間とするとともに、イベントや体験の実施などを通じて島根ファンの増加や関係人口の拡大に繋げていく

### 3 施設概要

#### (1) 機能

##### ○ ご縁市場（県産品展示販売）

しじみやそば、赤天などのおなじみの特産品をはじめ、ぜひ首都圏の方に知って欲しい逸品などを、産地や生産者の情報も合わせてお届けします。

##### ○ ご縁ステージ（対面販売スペース）

県内生産者が出店し、直接お客さまにアピールします。今後、首都圏での販売を目指す生産者のアピールステージとしても活用していきます。

##### ○ ご縁広場（イベントスペース）

県産品や移住に関するセミナーや観光関連イベントのほか工芸体験など、島根の食、暮らし、歴史、自然、文化に触れるイベントを行います。

##### ○ ご縁カフェ（軽飲食コーナー）

県産品を使った簡単なお食事や地酒などを提供します。日比谷しまね館で販売している商品を使ったアレンジメニューも紹介していきます。

##### ○ 観光・移住デスク

観光パンフレットを多数そろえ、島根の観光地をPRします。また、専任のコーディネーターが島根への移住などに関するご相談にお答えします。

(2) 営業時間 11:00～20:00（日比谷シャンテの営業時間に合わせる）

(3) 休館日 日比谷シャンテの休館日に合わせる

### 4 運営体制

県産品の展示・販売：（株）東急コミュニティー（業務委託）

観光情報：島根県東京事務所（日比谷しまね館事務所）

移住相談：（公財）ふるさと島根定住財団 しまね移住支援サテライト東京